

手が出そうになったらどうする？

プロジェクト名	ぞう 7月		
日付	2024年 7月 22日	記録者名	島田
園児			
本日のねらい・内容	プール後の着替えの時、誰がパーテーションを片付けるかで揉め、叩いた、押した、と言い合いになったぞうさん。手が出てしまうことは良くないこと。そして、言葉で伝えた方が良くないこと。どちらも頭ではわかっています。「手が出そうになる時はどんな時？」と聞いてみると「言うこと聞いてもらえん時！」「お家でもケンカするん？」「うん。するよ。」(お兄ちゃん、お姉ちゃん)「きょうだいのケンカの時叩いたりするん？」「うん。叩いたり叩かれたりする。」顔を見合いながら「我慢できん時があるんよね。」の言葉に、納得した表情のぞうさん。この話の後、「今、～ちゃんと言い合いになって叩きたくなかったけど、手をグーにしたら我慢できた！」と嬉しそうに伝えにきてくれました。話し合いが、子どもたちの気持ちに、行動につながっていることを感じます。これからも子どもたちと一緒に考え、話し合い、行動につなげていく姿見守っていききたいと思います。		



「押さんこ一口で言えばいいじゃん。」「なんて？」「自分が片づけるけえって。」「でも、1人で片付けたかった。」「自分だけで片付けたかったよね。」



「手が出そうになった時、どうしたら止まるのかな？」「叩こうとしたら手を反対の手とくっつけるのは？」



「叩きたくなったらグーにすればいいんじゃない？」



「みんなでやってみようか？」「こう？」「そうそう！」

成長の視点			
-------	--	--	--

今後の展開